

溶融資源化センター・リサイクルプラザ

事業報告

H30.7～H30.12

鳥栖・三養基西部環境施設組合

事業報告（平成30年7月～12月）

1 搬入ごみについて

平成30年7月～12月のごみ搬入量は、総計17,606トン（可燃14,508 不燃粗大2,171 資源927）で、前年比較では657トンの増加（鳥栖市554 上峰町△1 みやき町104）となりました。

■種類別地区別搬入ごみ量

（単位トン）

	鳥栖市			上峰町			みやき町		
	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源
7月	1,853.12	188.36	100.49	181.28	43.96	15.75	465.69	119.71	37.17
8月	1,848.80	195.15	114.53	173.25	37.36	15.86	452.15	105.37	36.66
9月	1,689.58	170.51	94.23	155.87	30.49	15.74	407.95	92.14	34.31
10月	1,843.32	234.49	103.92	177.11	49.43	14.05	464.91	135.56	33.88
11月	1,701.37	207.94	92.91	168.49	43.89	14.51	436.68	106.80	36.26
12月	1,834.91	222.50	116.74	181.03	50.13	16.24	472.85	137.15	33.42
計	10,771.10	1,218.95	622.82	1,037.03	255.26	92.15	2,700.23	696.73	211.70

2 溶融資源化センターについて

平成30年7月～12月のごみ溶融量は15,825トンで溶融スラグ1,248トンを経済資源物として回収しました。形態別では1炉操業89日、2炉操業84日となりました。また10月17日～21日に共通系設備の定期整備、10月27日～11月4日に酸素発生装置吸着材交換作業を実施しました。

なおエネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量は6,238トン-CO₂です。

■溶融炉月別操業状況

（単位トン）

	処理量			スラグ量	CO ₂ 排出量	備考
	1号炉	2号炉	計			
7月	1,703.72	725.11	2,428.83	257.34	1,001	
8月	1,698.60	1,704.11	3,402.71	205.51	1,259	
9月	381.47	2,230.51	2,611.98	185.64	972	
10月	0.00	1,676.36	1,676.36	224.57	751	10/17～21 共通系設備定期整備
11月	1,228.72	1,413.12	2,641.84	186.26	1,088	10/27～11/4 酸素発生装置吸着材交換
12月	1,768.51	1,294.77	3,063.28	189.44	1,167	
計	6,781.02	9,043.98	15,825.00	1,248.76	6,238	

*スラグ量は、排出ベース CO₂排出量は、エネルギー使用に伴うもの（電気、LPG）

3 リサイクルプラザについて

平成30年7月～12月のごみ処理量は3,098トンで、主な資源化物として金属類291トン、紙類461トン、びん類231トン、ペットボトル62トン、その他プラスチック類47トン、小型家電49トンを回収し、選別残渣1,844トンを溶融資源化センターで処理しました。

■資源化物の搬出状況

(単位トン)

	金属類	紙類	古布	びん	プラスチック類			小型家電	計
					PET	その他	白トレイ		
7月	46.84	82.88	10.51	33.18	6.99	8.93	0.26	5.81	192.40
8月	57.08	84.55	8.88	56.07	19.46	5.97	0.43	10.23	242.67
9月	39.19	61.44	10.03	22.39	11.98	11.76	0.21	6.41	163.41
10月	44.46	67.80	8.46	57.52	5.77	5.78	0.38	8.05	198.22
11月	50.48	65.72	10.82	25.79	12.12	5.84	0.19	8.95	179.91
12月	53.12	98.88	12.59	35.67	5.48	11.43	0.39	9.55	227.11
計	291.17	461.27	61.29	230.62	61.80	46.71	1.86	49.00	1,203.72

4 環境保全について

11月30日に環境保全連絡協議会委員の視察研修（福岡県春日市の福岡都市圏南部工場）を実施し、併せて平成30年度の環境保全協定に基づく環境測定結果中間報告及び平成31年度の環境測定実施計画について説明しました。

また12月10日～11日に溶融資源化センターの排ガス測定、騒音・振動測定、悪臭測定等を実施しました。

■排ガス測定結果（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法による測定）

	ばいじん	硫黄酸化物	窒素酸化物	塩化水素	全水銀	ダイオキシン類
協定値	0.01g/m3N	50ppm	100ppm	50ppm	50 µg	0.1ng
H30.12.11 測定	0.005 未満	4 未満	43	4 未満	4.5	0.000071

■騒音・振動測定結果：昼間、夜間とも基準値以下 ■悪臭測定結果：全項目基準値以下

5 啓発事業について

平成30年7月～12月に以下の事業を実施し2,854名の参加がありました。

項目	件数	利用者数
視察研修等	34件	1,586名
環境教室等	16件	358名
環境事業	6件	910名

6 安全管理について

一般廃棄物処理施設の安心安全を目指して各種訓練を実施しました。

■平成30年7月25日 総合防災訓練

現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練し、災害に万全の備えで臨んでいきます。今回のテーマは、溶融資源化センターでの環境事故を想定した対応や処置の訓練を実施しました。

■平成30年9月6日 体感型安全研修会

溶融資源化センター及びリサイクルプラザで勤務する従業員の日常作業の安全性に対する意識の向上を図る目的で安全研修会を実施しました。参加者は、実際に感電体感・ヘルメット衝撃体験・回転機器巻き込まれ危険体験など通して、作業中に潜んでいる危険行動について、自身の実を守るための安全な行動に対する様々な認識を深めました。

■平成30年11月16日 自衛消防訓練

啓発施設であるリサイクルプラザでは、火災発生時に適切な対応をするため、初期火災消火、関係各所への通報、避難誘導訓練を行いました。

■平成30年12月12日 総合防災訓練

本年7月の訓練に引き続き、現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練しました。今回のテーマは、溶融資源化センターでの火災事故を想定した対応や処置の訓練を実施しました。

訓練風景



組合では、引き続き今後も安全を最優先した事故防止に努めます。